

PRESS RELEASE



宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

報道機関 各位
(新型コロナウイルス 担当)

公立大学法人 宮城大学 大和キャンパス事務局
企画・入試課 広報グループ (担当: 小野寺大作)
宮城県黒川郡大和町学苑 1-1 TEL.022-377-8746

新型コロナウイルス感染症に関して 様々な角度から知見を提供するオンライン公開講座 「コロナ禍で生きる宮城大学の知」を配信しています



生活の中でやるべき新型コロナウイルス感染症対策から、感染症に強い身体を作るための食生活、新型コロナウイルスに関する英会話に至るまで、宮城大学の5人の教員が様々な角度から新型コロナウイルスへの対応を講義する動画を配信しています。その名も「コロナ禍で生きる宮城大学の知」。ウィズコロナで生きていく県民の皆様の生活にお役立ていただきたく、ぜひご取材いただけますと幸いです。



オンライン公開講座の内容

1. 病気に負けない体をめざして～食と免疫～ (令和2年12月12日配信開始)

内容:体の中に入ってきた病原体を防御する「生体バリア」について確認した上で、それでも入ってきた病原菌をたたく免疫について解説しています。感染症に打ち勝つためには、どんなものを食べて、どんな生活をするべきでしょうか。そのポイントについて説明しています。

講師:食産業学群教授 森本 素子

感染症や代謝性疾患に関わる免疫系のメカニズム解明と疾患モデルを用いた予防・治療への展開について研究しています。獣医師です。



本リリースに関するお問い合わせ先

宮城大学 研究推進・地域未来共創センター (担当: 菅原) TEL: 022-377-8554 Mail: chiren@myu.ac.jp

PRESS RELEASE



宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

公立大学法人 宮城大学 大和キャンパス事務局
企画・入試課 広報グループ（担当：小野寺大作）
宮城県黒川郡大和町学苑 1-1 TEL.022-377-8746

報道機関 各位

(新型コロナウイルス 担当)

2. 生活習慣病と新型コロナウイルス感染症（令和2年12月12日配信開始）

内容：新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、持病を合併していると重症化しやすくなってしまいます。この持病には、糖尿病や高血圧といった生活習慣病が含まれます。本講義では、新型コロナウイルス感染症が重症化するメカニズムのほか、これらの生活習慣病がどのようにおき、どのように治療・予防すべきかについても説明しています。

講師：看護学群教授 風間 逸郎

風間教授は総合内科専門医として、現在も患者さんの診療に携わっています。そして、臨床から得られた発想をもとに、病気のメカニズムや治療法を解明するための研究にも取り組んでいます。

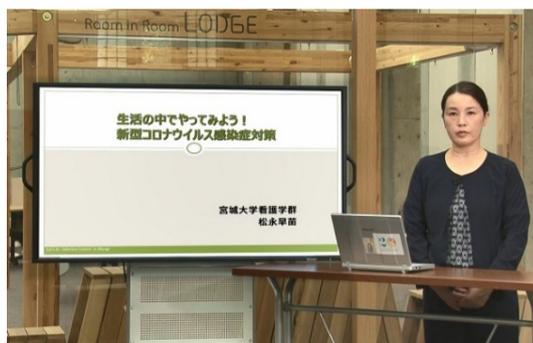


3. 生活の中でやってみよう！新型コロナウイルス感染症対策（令和2年12月12日配信開始）

内容：感染症の歴史や、新型コロナウイルスにどのようにして感染するか等について説明した上で、生活の中で行うべき6つの新型コロナウイルス感染症対策について説明しています。特に、アルコール製剤で手を洗う際のポイントは必見です。

講師：看護学群 特任講師 松永 早苗 ※令和2年度末で離任

宮城県が設置する「新型コロナウイルス感染症防止対策窓口（障害福祉施設向け）」において、派遣講師も務めています。



本リリースに関するお問い合わせ先

宮城大学 研究推進・地域未来共創センター（担当：菅原） TEL：022-377-8554 Mail：chiren@myu.ac.jp

PRESS RELEASE



宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

公立大学法人 宮城大学 大和キャンパス事務局
企画・入試課 広報グループ (担当: 小野寺大作)
宮城県黒川郡大和町学苑 1-1 TEL.022-377-8746

報道機関 各位
(新型コロナウイルス 担当)

4. ポストコロナに向けて、海外訪問・訪問者ホストのためのホームスティ英語表現を習得しておこう (令和3年3月19日配信開始)

内容: コロナ禍の終息後あるいはコロナウイルスとの共存の時代におけるホームスティ英語を先駆けて習得します。留学先や受入において、これまでは想像もできなかった会話をしなければならない時代が来ます。皆に先駆けて表現を講義しています。

講師: 基盤教育群准教授 曾根 洋明 ※R3年度より教授

日本人が英語を使用する際に苦手とする単語、表現を「直観的に」、いわば場合分けをあまりせずに理解し、使用できるようにすることを目標に研究しています。



5. コロナ禍での町内会活動・地域活動のバージョンアップ (令和3年3月19日配信開始)

内容: 新型コロナウイルスに適切に立ち向かうことは、町内会活動や地域活動を見直す機会になります。この講義では、平時のまちづくりの課題と照らし合わせながら、これからの町内会活動・地域活動のあり方について紹介しています。

講師: 事業構想学群准教授 小地沢 将之

都市・地域・社会デザイン、住民参加によるまちづくり、ソーシャル・キャピタル、社会教育の分野で、持続可能な地域生活の拠点を形成するための実践的な支援を通じて、日常生活圏域レベルでの拠点形成のための理論的枠組みの構築を目指しています。



宮城大学オンライン公開講座とは

宮城大学では、2017年から、本学の教育・研究の成果を地域の皆さまに還元する場として「宮城大学公開講座」を開催しております。2019年度は「地域で生きる宮城大学の知」を共通のテーマとして11回の講座を開催し、のべ269人の方にご参加いただきました。2020年度も12回の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、リスクを排して安全を確保することが難しく、開催を見合わせてきたところです。そこで「コロナ禍で生きる宮城大学の知」を共通のテーマとして、5本の動画をYouTubeからのオンライン配信により、皆さまにお届けしています。



本リリースに関するお問い合わせ先

宮城大学 研究推進・地域未来共創センター (担当: 菅原) TEL: 022-377-8554 Mail: chiren@myu.ac.jp